

IP500APPは、弊社製IP無線機との音声通信やメッセージ通信ができるアプリです。
本書では、Android端末、およびiOS端末でのアプリの操作について説明します。

動作環境

- ◎Android 8.0以降★
- ◎iOS 12以降、iPadOS 13.1以降

- ★DURA FORCE PRO(KC-S702)の場合は、Android 7.1.2で動作します。
- ※すべてのAndroid端末、またはiOS端末での動作を保証するものではありません。
- OSのバージョンやインストールされているアプリなどによっては、動作しない場合があります。
- ※本書は、Android 9.0、iOS 12.3.2を使用して説明しています。
- OSのバージョンや設定により、お使いの端末と多少異なる場合があります。
- ※本書で掲載している画面は、実際とは異なる場合があります。

使用上のご注意

- ◎本アプリがバックグラウンドで実行中に着信したときは、画面が切り替わらずに相手の音声が出力されます。
- ◎送信できるのは、本アプリの画面を表示しているときだけです。
 - ※DURA FORCE PRO(KC-S702)をご使用で本アプリとダイレクトボタンを連携している場合は、本アプリがバックグラウンドで実行中でもダイレクトボタンで送信できます。
 - ※HM-248PL(別売品)を端末に接続してVOX機能を使用している場合は、本アプリがバックグラウンドで実行中でもHM-248PLの[PTT]スイッチで送信できます。(P.14)
- ◎端末にBluetoothのヘッドセット(例:VS-3)を接続している場合、ヘッドセットのPTTスイッチやVOX機能による送信はできません。
- ◎本アプリを使用中、端末に通常の電話着信があった場合は、アプリ側の音声はミュート(聞こえない状態)になり、送信が停止します。
- ◎本アプリに対して、端末側で位置情報などのアクセス権限を許可する必要があります。
- 設定項目や設定方法はお使いになる端末によって異なりますので、端末の取扱説明書をご覧ください。
- ◎本アプリは縦画面専用です。
 - ※画面の自動回転には対応していません。
- ◎サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ◎本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
 Google、Google Play、Androidは、Google LLCの商標または登録商標です。
 IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
 iPadOSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
 App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
 DURA FORCEは、京セラ株式会社の登録商標です。
 その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
 なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
 本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アプリのインストールと起動

- 1 お使いになる端末に応じて「Play ストア」(Android)、または「App Store」(iOS)をタップし、「IP500APP」で検索する。
 - ・候補のアプリの中から「IP500APP」が表示されます。
 - ※すべて入力しないと検索できない場合があります。
 - ※お使いになる端末がIP500APPに対応していない場合、候補のアプリに「IP500APP」が表示されないことがあります。
- 2 「IP500APP」をタップする。
 - ・IP500APPの紹介画面が表示されます。
- 3 「インストール」(Android)、または「入手」(iOS)をタップする。
 - ・アプリのインストールが開始されます。
 - ・インストールが完了すると、ホーム画面、またはアプリ一覧画面に「IP500APP」のアイコンが表示されます。
- 4 ホーム画面、またはアプリ一覧画面にある「IP500APP」のアイコンをタップする。

ログインについて

本アプリを使用するには、ログインの設定が必要です。

詳しくは、販売店にお問い合わせください。

※1つのユーザーIDで、複数の端末には同時にログインできません。あとからログインした方が優先されます。

※ログイン認証に複数回失敗すると、ログインが一定時間規制される場合があります。

IP500APP

ログイン

サーバーアドレス

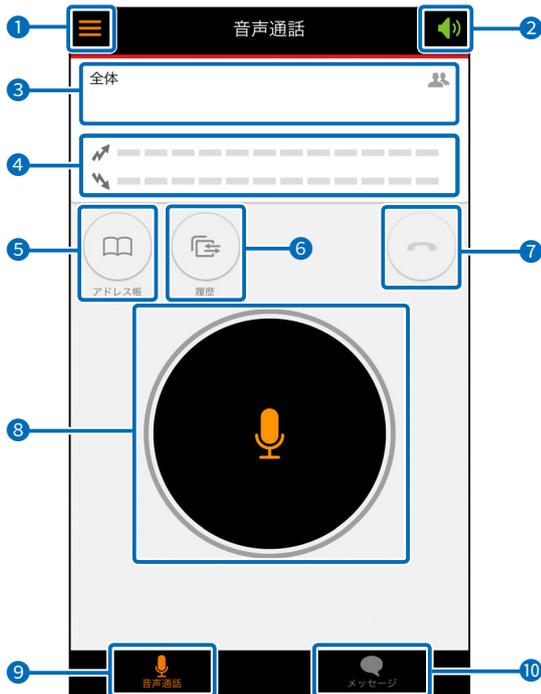
ユーザーID

パスワード

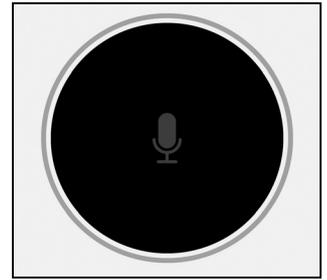
ログイン

音声通話画面

アプリを起動すると、音声通話画面が表示されます。



PTTボタンがグレー表示の場合は、橙色になるまで、しばらく待つ、または場所を移動してから、端末が接続している無線アクセスポイントやLTEの通信状態を確認してください。



PTTボタン全体が薄くなっている場合は、送信が制限されている状態です。



1 メニューアイコン

タップすると、メニューが表示されます。

【設定】

機能や音量を設定します。(P.4)

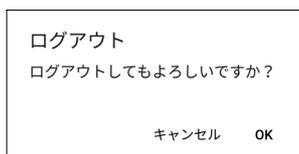
【情報表示】

設定されている自局名、自局番号、アプリのバージョン、オープンソースライセンスを確認できます。(P.8)

【ログアウト】

下図の確認画面が表示されます。

[OK]をタップすると、ログイン画面に戻ります。(P.2)



※販売店での設定により、表示されない場合があります。

2 スピーカーフォンボタン

スピーカーフォン機能をON/OFFします。

ON(🔊)に設定し、[ワンタッチPTT](P.4)をONに設定すると、ハンズフリーで使用できます。

3 ディスプレイ

送信する相手先や受信した相手先、受信したメッセージ、呼び出しモードが表示されます。

呼び出しモード表示

👤：全体/グループ呼び出し

👥：トークグループ呼び出し

👤：個別呼び出し

☎️：電話(発信/着信)

4 ステータスバー

音声の送受信状態が表示されます。

【送信ステータスバー】

音声送信中に、赤色に点灯します。

送信音量に応じて、バーが点灯します。

【受信ステータスバー】

音声受信中に、緑色に点灯します。

受信音量に応じて、バーが点灯します。

5 アドレス帳ボタン

アドレス帳画面が表示され、送信する相手先を変更できます。(P.8)

6 履歴ボタン

履歴画面が表示され、受信や送信の履歴を確認できます。(P.12)

7 切断ボタン

タップすると、電話との通話が切断されます。

※本アプリから電話を切れるのは、電話機から本アプリを個別に呼び出したとき、または本アプリから電話機を呼び出したときだけです。

8 PTTボタン

ロングタップしているあいだだけ、ディスプレイに表示されている相手先に音声を送信します。

※グレー表示、またはPTTボタン全体が薄くなっている場合は、使用できません。

※VOX機能とは併用できません。(P.14)

※[ワンタッチPTT](P.4)をONに設定しているときは、PTTボタンをタップすると、音声を送信します。

9 音声通話ボタン

音声通話画面が表示されます。

10 メッセージボタン

メッセージ画面が表示されます。(P.11)

※最新の受信メッセージは、メッセージ画面、または音声通話画面で確認できます。(P.11)

過去の受信メッセージは、履歴画面で確認できます。(P.12)

設定画面

機能や音量の設定を変更できます。



① ミュート

ONに設定すると、アプリから出るすべての通知音と受信音、通知時の振動動作を停止します。
ONに設定している場合、メッセージ画面、または音声通話画面に「[MUTE]」が表示されます。

② 受信音量

受信音量を調整します。

③ 送信音量

送信音量を調整します。

④ 音声受信通知

音声を受信した場合に通知する音量と振動パターン、通知音パターンを設定します。

⑤ PTT開始通知音

音声通話開始を通知する音量と通知音パターンを設定します。

⑥ PTT終了通知音

音声通話終了を通知する音量と通知音パターンを設定します。

⑦ メッセージ受信通知

メッセージを受信した場合に通知する音量と振動パターンを設定します。

⑧ その他の通知

連続送信が5分を超えた場合や個別呼び出しの接続結果などを通知する音量を調整します。

⑨ Bluetoothヘッドセット

ONに設定すると、本アプリでBluetoothヘッドセットを使用できます。

⑩ VOX

HM-248PL(別売品)を接続しているときに、マイクからの音声によって送受信を自動的に切り替えるVOX機能を使用するか設定します。(P.14)

⑪ 音声スレッシュ

音声信号が入力されたことを検知するしきい値レベルを調整します。

値が小さいほど、小さい音量でも送信に切り替わります。

⑫ 調整

HM-248PLを接続し、[PTT]スイッチを押していない状態で「実行」をタップすると、[音声スレッシュ]の設定値を自動で調整します。

※自動調整した[音声スレッシュ]の設定値で動作しないときは、HM-248PLを接続し、音声を送信できるか確認しながら設定値を手動で調整してください。



13 ワンタッチPTT

PTTボタンの動作を設定します。

ON : タップすることによって送信のON/OFFを切り替えます。
 OFF : ロングタップしているあいだだけ、送信状態になります。

※VOX機能とは併用できません。(P.14)

14 録音

録音機能をON/OFFします。

ONに設定すると、受信した内容が録音されます。
 (P.13)

※販売店での設定により、表示されない場合があります。

15 音声モード★

本アプリの音声モードを設定します。

VoIP : 音声めいりょう度が高く、音声通信に適しているモードです。

ミュージック : 本アプリとは別の音楽アプリなどを使用して問題がある場合、音声めいりょう度を下げて使用するモードです。(非推奨)

自動 : 音声通信を開始すると、自動で「VoIP」に設定されます。
 音声通信をしていないときは、自動で「ミュージック」に設定されます。

16 遅延時間(ミリ秒)★

音声通話開始時の音声バッファリング時間を設定します。

※[音声モード]で「自動」に設定したときだけ編集できます。

17 アカウント名表示

音声通話画面、メッセージ画面の上部に自身のユーザーIDを表示するか設定します。

★Android用アプリで設定できる項目です。

PTTボタンをタップ

PTTボタンをロングタップしているあいだだけ、通話相手に呼びかけます。

※送信する相手先は、アドレス帳(P.8)、または履歴(P.12)から選択します。

※[ワンタッチPTT](P.4)を設定しているときは、PTTボタンをタップすると、音声を送信します。

※DURA FORCE PRO(KC-S702)をご使用の場合は、本アプリとダイレクトボタンを連携すると、PTTボタンと同様にダイレクトボタンで送信できます。

設定について詳しくは、端末の取扱説明書をご覧ください。



【連続送信について】

音声を送信しつづけている場合など、不用意な送信を防止するために、タイマーが設定されています。連続送信が5分を超えると、自動的に送信を停止しますので、通話を再開するには再度PTTボタンをタップ、またはロングタップしてください。

通話のしかた

相手の音声を受信する

相手が送信した音声が届きます。

※相手の音声を受信中、「<受信中>」が表示されます。



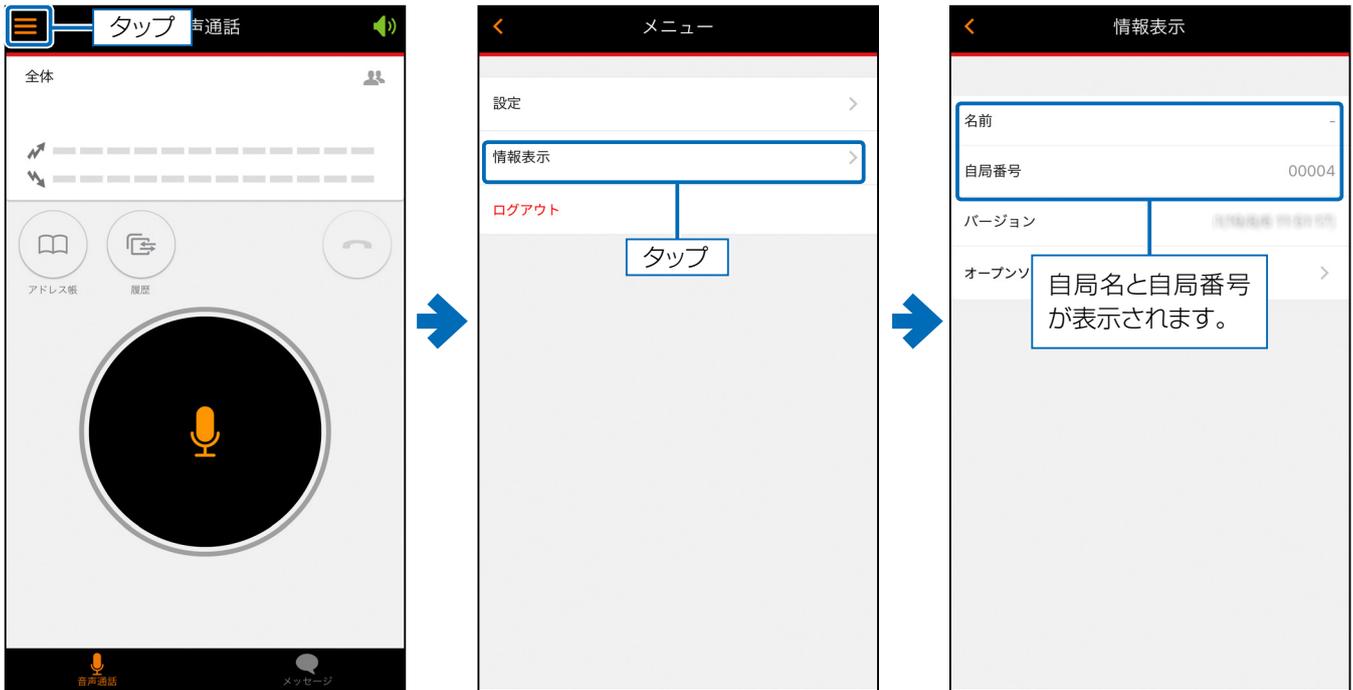
通話をつづける

相手が送信しているときでも、PTTボタンをタップする、またはロングタップしているあいだだけ、電話のように同時通話ができます。



自局番号の確認

メニューアイコンにある情報表示から、自局番号を確認できます。



アドレス帳画面

アドレス帳画面では、登録されているIP無線機や、所属しているトークグループを確認できます。

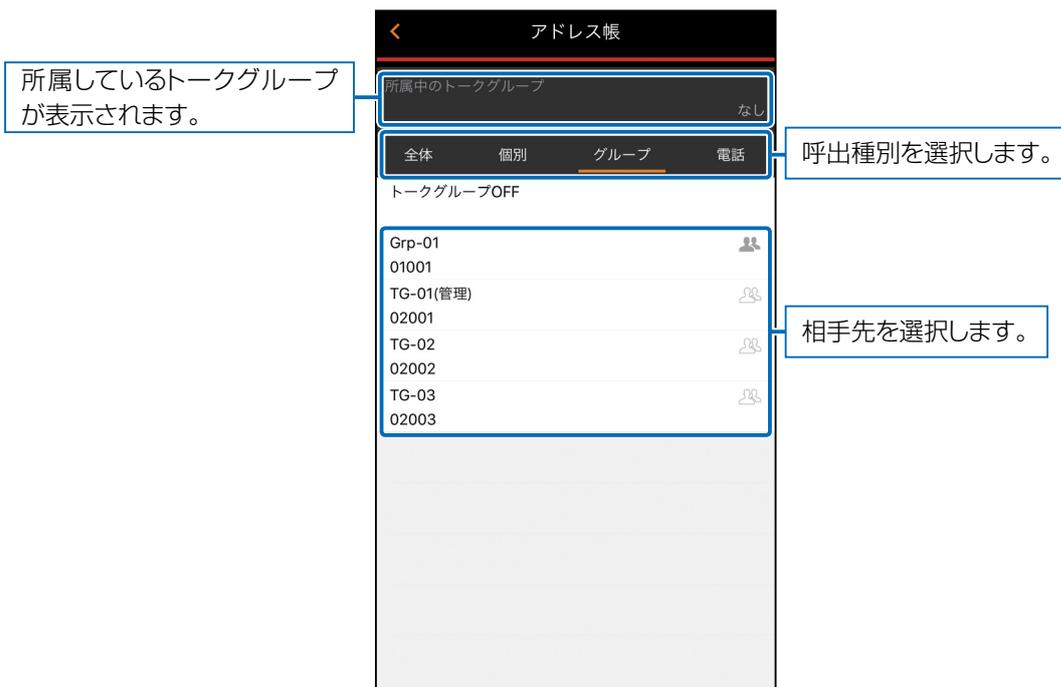
また、アドレス帳から音声、またはメッセージを送信する相手先を変更できます。

トークグループ呼び出しをするときは、「グループ」をタップして、所属するトークグループを選択します。

「トークグループOFF」を選択すると、トークグループが解除されます。

※アドレス帳の設定については、販売店にご依頼ください。

※本アプリで電話しているときは、別の相手への切り替えはできません。



トークグループ呼び出しについて

どのグループに所属するかを、端末側で選択できる機能です。

同じトークグループに所属するほかの端末とグループ呼び出しができます。

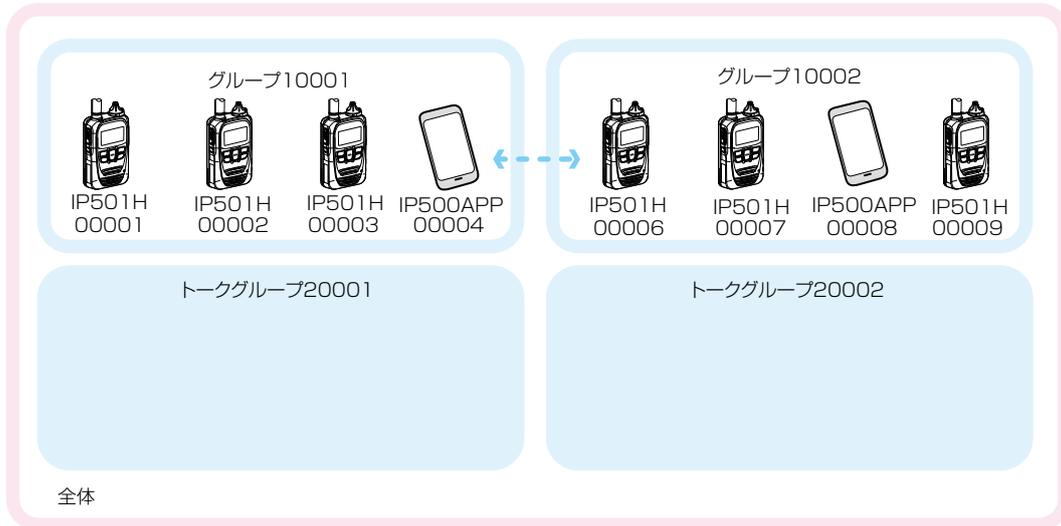
図のように、トークグループ(例：20001)を選択すると、その端末(例：00004)は通常のグループ(例：10001)からはずれます。

※ご使用になるシステム環境で、トークグループ番号が設定されているときだけ使用できます。

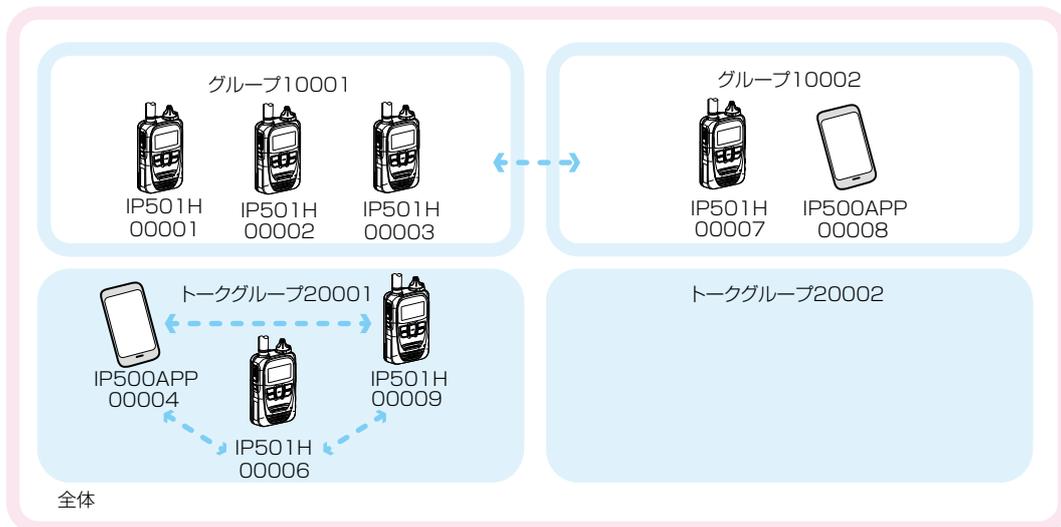
※トークグループは、アドレス帳で選択します。(P.8)

※通常のグループ呼び出し、全体呼び出しの対象にトークグループを含めるかどうかなどは、販売店にご依頼ください。

トークグループを選択していないとき

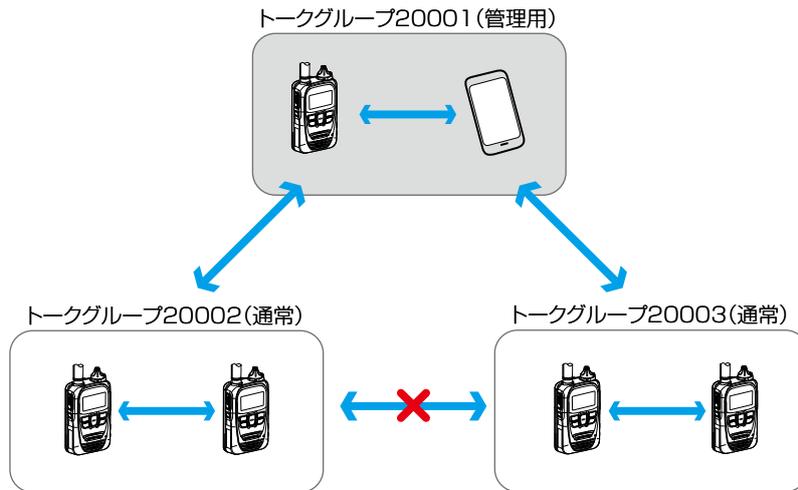


トークグループを選択したとき



トークグループ呼び出しについて

トークグループ種別が「管理用」に設定されているトークグループを選択した場合は、複数のトークグループと通話できます。
※管理用トークグループの設定については、販売店にご依頼ください。



【例：トークグループ20002 (通常)とトークグループ20003 (通常)をトークグループ20001 (管理用)に所属させた場合】

- ◎20001の呼び出しは、20001、20002、20003に所属している端末が呼び出される
- ◎20002の呼び出しは、20001、20002に所属している端末が呼び出される
- ◎20003の呼び出しは、20001、20003に所属している端末が呼び出される

メッセージ画面

メッセージの送信

メッセージ画面では、メッセージの送信ができます。

送信するメッセージは、登録されている定型文から選択します。

※メッセージを送信する相手先は、アドレス帳(P.8)、または履歴(P.12)から選択します。

※呼出種別の「電話」を、送信する相手先として選択できません。

※メッセージの設定については、販売店にご依頼ください。



★Androidの場合は、手順4で表示される定型文をタップすると、メッセージが確定されます。

最新メッセージの確認

受信した最新のメッセージは、メッセージ画面、または音声通話画面に表示されます。

※メッセージを受信したときは、通知音と振動で通知されます。(P.4)

※過去の受信メッセージは、履歴画面(P.12)で確認できます。



履歴画面

履歴画面では、通話やメッセージ、電話の受信履歴、送信履歴、および録音履歴を確認できます。
また、履歴から音声、またはメッセージを送信する相手先を変更できます。
※各履歴は100件まで記憶され、100件を超えると、古い履歴から自動的に消去されます。
※録音機能については、13ページをご覧ください。

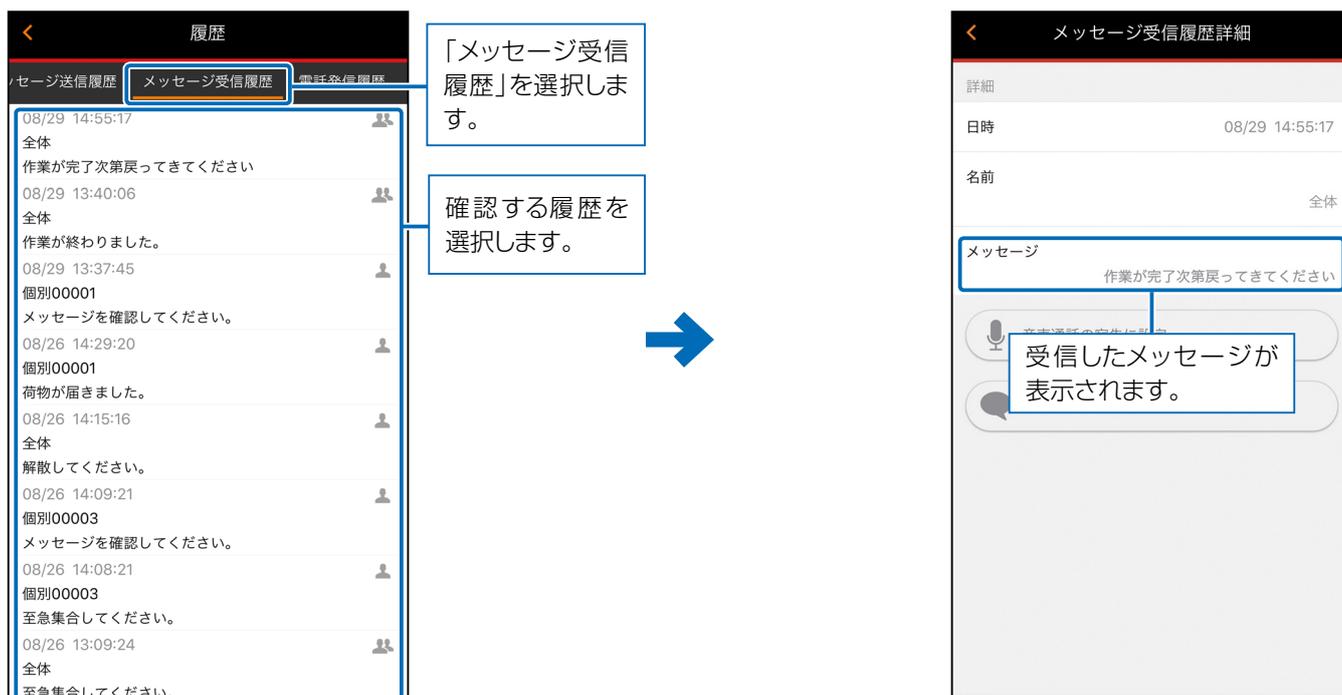
履歴詳細の確認と送信先の変更

履歴画面に表示されている履歴を選択すると、履歴詳細の確認と送信する相手先を変更できます。



過去に受信したメッセージの確認

過去の受信メッセージは、メッセージ受信履歴で確認できます。



録音機能

受信した内容を録音できる機能です。

1件あたり最大1分まで録音でき、10件を超えると古いものから自動的に消去されます。

※応答した場合も相手からの音声だけが最大1分録音されます。

※本アプリの録音データは、取り出せません。

※録音機能を使用するときは、[録音] (P.5)をONに設定してください。

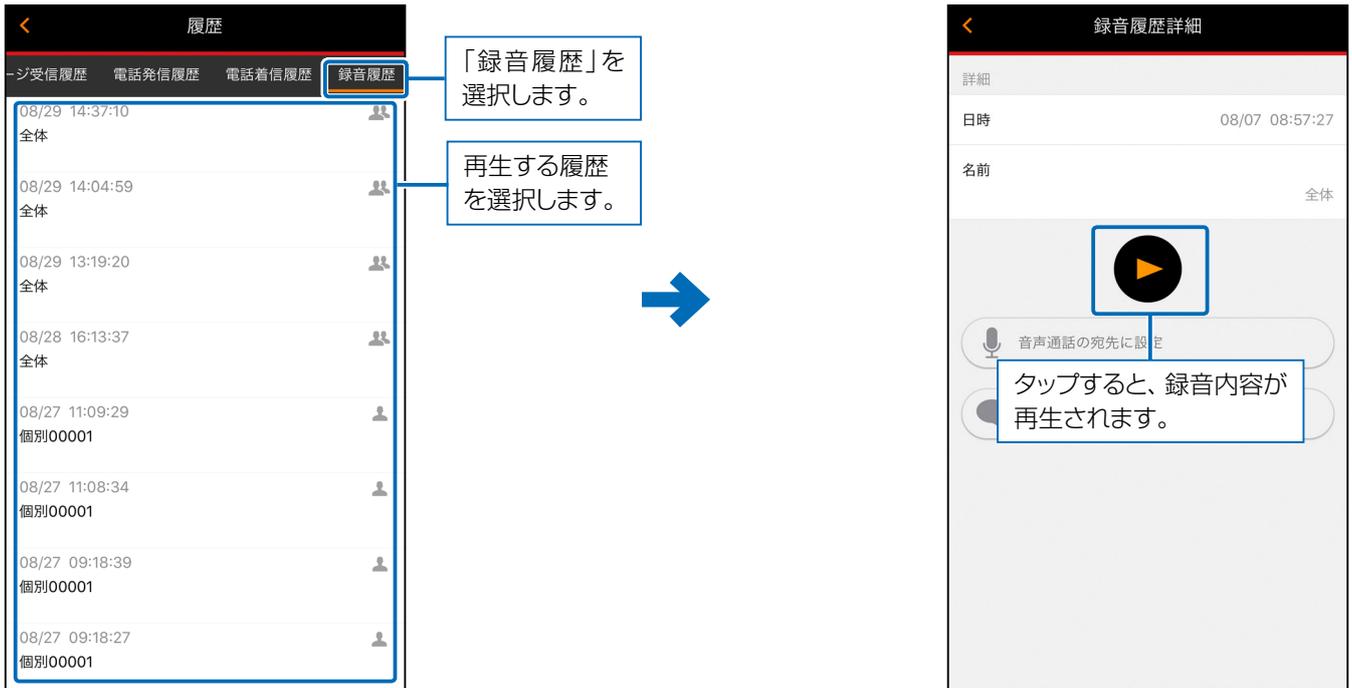
※販売店での設定によっては、使用できない場合があります。

詳しくは、販売店にお問い合わせください。

録音を再生するには

録音された音声を再生するときは、録音履歴画面で対象を選択します。

※録音内容を再生中に音声を受信すると、再生は停止します。



VOX機能

マイクからの音声によって送受信を自動的に切り替える機能です。

HM-248PL(下記参照)を端末に接続し、[VOX] (P.4)をONに設定することで、VOX機能を使用できます。

VOX機能を使用しているときは、音声通話画面に「[VOX]」が表示されます。

※下記は、VOX機能と併用できません。

- PTTボタン(P.3)の操作
- ダイレクトボタン(P.6)の音声送信操作
- ワンタッチPTT機能(P.5)

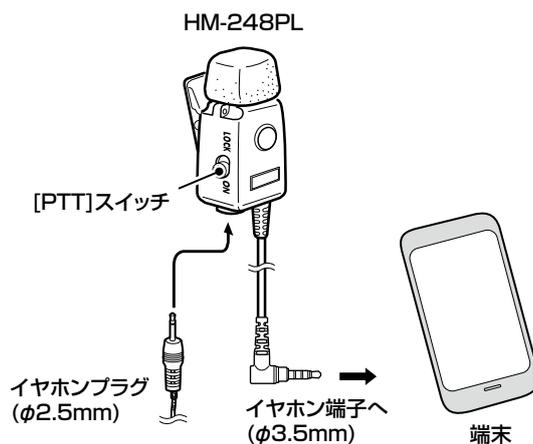


HM-248PLを端末に接続し、[VOX]をONに設定すると、表示されます。

HM-248PLについて

VOX機能を使用すると、端末に接続しているHM-248PLの[PTT]スイッチで音声を送信できます。

※[VOX]をONにしていない場合、[PTT]スイッチで音声を送信できません。



Radio Communication Solutions
株式会社 ジャパンエニックス
JAPAN ENIX CO.,LTD.

- 本 社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351
 - 関 西 支 店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700
 - 札幌営業所 □ 名古屋営業所
 - 仙台営業所 □ 九州営業所
- <https://www.jenix.co.jp/> 営業所住所はこちら ▶